

応募資格

岩手県在住者(経験者も含む)、岩手県出身者及び本籍が岩手県にある方。
県外の応募者にあつては岩手県との関わりを記入すること。(かつて居住した岩手県の市町村名など)

公募内容

小説、戯曲・シナリオ、文芸評論、随筆、児童文学、詩、短歌、俳句、川柳の9種目のうち、日本語で書かれた未発表の創作作品。
(ただし、戯曲・シナリオについては上演済みの作品も可)

応募原稿					
種 目	応募できる作品数	原稿枚数	題名記載場所	応募者情報記載場所	その他
小 説	1 篇	原稿用紙30枚以内 (文字数換算可)	1行目	末尾 又は別紙	
戯 曲・ シナリオ	1 篇	原稿用紙50枚程度 (文字数換算可)	1行目		●内容は下記のいずれかとし、応募者情報に記載すること。 (1)演劇一幕もの (2)ラジオドラマ (3)テレビドラマ
文芸評論	1 篇	原稿用紙30枚以内 (文字数換算可)	1行目		●研究的内容のものも可とする。
随 筆	1 篇	原稿用紙4枚	1行目		●規定する枚数を超えないこと。
児童文学	1 篇(少年少女詩、 童謡の場合は 3 篇以内)	原稿用紙30枚以内 (文字数換算可)	1行目	別紙	●フィクション、ノンフィクションを問わない。
詩	3 篇以内	1 篇につき 原稿用紙 3 枚以内	1行目	別紙	●行あけを明確にすること。 ●篇ごとの通し番号を付すこと。 (篇・頁: 1-1、1-2、1-3、2-1、…)
短 歌	10首	原稿用紙 1 枚	欄外	裏面	
俳 句	雑詠5句 1 組	はがき1枚 (メール可)	1行目		
川 柳	雑詠7句				

- (1)原稿用紙の規格は、サイズをA4またはB4とし、20行×20行の400字詰めとする。
- (2)応募原稿は縦書きとし、複数枚の場合はページ番号を付し、右上綴じとする。
- (3)応募者情報は、次の①から⑦を記載し、提出の際は、種目別に指定する方法で、応募原稿に添えて提出すること。
- ①筆名・雅号(ある場合のみ) ②氏名 ③住所 ④年齢 ⑤電話番号 ⑥Eメールアドレス(ある場合のみ) ⑦岩手県との関わり(県外在住者のみ)

点字で応募する場合

※32マスの点字器を使用し、点字用紙片面打ち1枚あたり16行を標準とする。
(他の点字器を使用する場合はこれに準ずること。)各種目の枚数は次の表のとおり。

小 説	戯曲・シナリオ	文芸評論	随 筆	児童文学
40枚以内	66枚程度	40枚以内	6枚	40枚以内

(1)会話の部分は行を改め、「」を使用すること。

(2)段落は3マス目から書きはじめ、点字用紙にページを打つこと。

(3)繰返符号は用いないこと。

(4)句点を入れること。

(5)墨字訳にあたり使用を希望する漢字がある場合は、別紙に箇条書きにすること。

賞の概要			入賞者は岩手県文化振興事業団のHP上で発表し、表彰式において正賞及び副賞を授与する。
芸術祭賞	各種目 1 作品	●正賞▶作品集掲載及び賞状 ●副賞▶ 3万円	
優秀賞	各種目 1 作品	●正賞▶作品集掲載及び賞状 ●副賞▶ 2万円	
奨励賞	各種目2作品	●正賞▶作品集掲載及び賞状 ●副賞▶ 1万円	
佳作・入選・選者賞 等	詩/短歌/俳句/川柳のみ、任意の点数		●正賞▶作品集掲載

発表日 令和6年10月4日(金)

表彰式 別途受賞者へ案内

会場 トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館)中ホール(予定)

選者	小 説	●大平 しおり	●村井 直衛			
	戯曲・シナリオ	●高村 明彦	●中村 剛造			
	文芸評論	●牛崎 敏哉	●塩谷 昌弘			
	随 筆	●須藤 宏明	●野中 康行			
	児童文学	●千葉 留里子	●藤原 成子			
	詩	●兒玉 智江	●平山 千春	●永田 豊		
	短 歌	●稲垣 貞男	●小笠原 和幸	●神原 猛	●藤井 永子	●山口 明子
	俳 句	●名久井 清流	●澤口 航悠	●二階堂 光江	●五日市 明子	●及川 永心
	川 柳	●中野 裕子	●坂下 一美	●澤瀬 海山		

- 応募上の注意
- (1)応募作品が過去に発表されていたことが確認された場合は、入賞・入選を取り消すことがある。
- (2)手書き原稿の場合は万年筆やボールペン等を用いて、かい書で書いた原稿を提出すること。(鉛筆書きは不可とする。)
- (3)データ原稿の場合は、データ形式はMS word (.doc/.docx)、テキスト(.txt)、PDF(.pdf)のみとする。
- (4)種目毎の応募できる作品数を超えて応募した場合、審査対象外とする。
- (5)複数の種目に応募することができるが、メールで応募する場合は、必ず1種目ずつ別送し、郵送で応募する場合は区分して封入すること。
- (6)提出後の作品の訂正は受け付けないこと。
- (7)応募作品は返却しないので、必要とする場合はコピーをとっておくこと。
- (8)特定の個人・団体を誹謗・中傷する作品、公序良俗に反する内容の作品、本公募要項に違反している作品、その他選者が相応しくないと判断した作品は選考対象外とする場合があること。
- (9)受賞作品を作品集に掲載する際の体裁の指定はできないこと。

応募締切 令和6年8月23日(金) 消印有効

作品集の刊行／令和6年12月13日(金)刊行予定(県内書店で販売)

お問い合わせ先

岩手芸術祭実行委員会事務局(岩手県文化振興事業団総務部内)
〒020-0023 盛岡市内丸13番1号
●電話／ 019-654-2235 ●FAX／ 019-625-3595
●mail／ i-geijutsu@iwate-bunshin.jp

応募方法【電子メール】【郵送】のいずれか

電子メール 岩手県文化振興事業団HP▶「岩手芸術祭に関するお問合せ」
「メールでの連絡」フォームより応募
(岩手芸術祭実行委員会事務局)

郵送 〒020-0023 盛岡市内丸13番1号 岩手県民会館内
岩手芸術祭実行委員会『県民文芸作品集』係

封筒、ハガキの表に「県民文芸作品集(作品種目)応募作品」と朱書きすること。

個人情報の取り扱い

応募者の個人情報は、審査結果の公表を含む作品集刊行業務の範囲内に限り利用する。ただし、入賞、入選者については、報道機関等に氏名及び居住市町村名の情報提供を行う場合がある。

提出前にもう一度確認【よくある不備リスト】

書式の不備

▶縦書きですか？

▶題名の記載場所は指定どおりですか？

▶ページ番号は付与しましたか？

枚数・文字数の超過

▶指定された枚数又は文字数ですか？

首数・句数の不足や超過

▶指定の首数、句数ですか？

応募者情報の不足

▶筆名・雅号の方は本名を記載しましたか？

▶県外在住の方は、岩手県との関わりに
ついて記載していますか？

応募及び
大会参加資格

岩手県在住者、岩手県出身者及び本籍が岩手県にある方。

小説

日時

会場

内容

事務局

令和6年11月4日(月・祝)午後1時30分～ ※10月16日までに申し込むこと。
トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館)第1会議室(盛岡市内丸13-1)
県民文芸作品集応募作品の講評 講師●大平 しおり ●村井 直衛
岩手芸術祭実行委員会事務局(岩手県文化振興事業団総務部内)
〒020-0023 盛岡市内丸13-1 ●TEL / 019-654-2235 ●FAX / 019-625-3595

戯曲

日時

会場

参加費

内容

事務局

運営委員

未定
盛岡劇場タウンホール(盛岡市松尾町3-1)
未定
戯曲に関する講座、またはワークショップ。
●高村 明彦 〒020-0051 盛岡市下太田沢田68-18 ●TEL / 090-1498-3591
●高村 明彦 ●中村 剛造

文芸評論

日時

会場

内容

令和6年10月14日(月・祝)午後1時～午後5時(午後0時30分～受付)
トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館)第3会議室(盛岡市内丸13-1)
小講演と研究発表
小講演 望月善次編著『宮澤賢治の妹トシの100年の贈物～甦った「自省録(宮澤トシ)」の新しい魅力』
(桜出版2024発行予定)をめぐって 講師●望月 善次
文芸評論のおける方法意識 講師●塩谷 昌弘
「君たちはどう生きるか」と宮沢賢治 講師●牛崎 敏哉
研究発表: 1～3人
★発表資格: 次の1.又は2.のいずれかを満たす方
1.『県民文芸作品集(評論の部)』応募者
2.9月9日(月)までに事務局宛発表趣旨(A4判、1枚程度)と共に申し出た方。
なお、希望者多数の場合は運営委員によって選考する。

参加費

事務局

運営委員

無料
●牛崎 敏哉 〒025-0001 花巻市天下田150-14 ●TEL / 090-2932-2628
●牛崎 敏哉 ●望月 善次

随筆

日時

会場

内容

事務局

令和6年11月2日(土)午後1時30分～ 3時30分頃 ※10月16日までに申し込むこと。
トーサイクラシックホール岩手(岩手県民会館)第1会議室(盛岡市内丸13-1)
県民文芸作品集応募作品の講評 講師●須藤 宏明 ●野中 康行
岩手芸術祭実行委員会事務局(岩手県文化振興事業団総務部内)
〒020-0023 盛岡市内丸13-1 ●TEL / 019-654-2235 ●FAX / 019-625-3595

児童文学

日時

会場

内容

参加申込

事務局

運営委員

令和6年10月27日(日)午前10時30分～午後3時30分
やはば一く(矢巾町活動交流センター)大研修室(矢巾町駅東1-12-1)
①県民文芸作品集応募作品の選評と合評 講師●千葉 留里子
②講演会と意見交換「物語を書くということ」 講師●杉村 修(作家) ●藍沢 篠(作家・詩人)
メール又はハガキで事務局まで。講演会(午後1時30分～)については当日参加も可。
●千葉 留里子
〒020-0114 盛岡市高松2-25-30 ●TEL / 019-661-6672 ●mail / ruri60-60@outlook.jp
●千葉 留里子 ●佐々木 喜久子

種目毎の大会の内容

大会の内容に関するお問い合わせは各大会事務局までお願いいたします。

詩

日 時

令和6年10月19日(土)午前10時～

会 場

北上市生涯学習センター(北上市大通1-3-1)

会 費

1,000円(当日受付、資料代ほか)

応 募 作 品

未発表作品3編以内、A4判原稿用紙使用、1編につき3枚以内で右綴じのこと。ワープロ原稿はA4判に印字のこと。尚、原稿 1 編につきコピー原稿を3部添付すること。選者の講評をご希望の方は切手を貼った返信用定形封筒に本人宛先を記入の上、同封のこと。

選 者

●兒玉 智江 ●平山 千春 ●永田 豊

表 彰

文芸祭賞、優秀賞、奨励賞、佳作ほか。

公 募 期 間

令和6年7月1日(月)より9月5日(木)※必着のこと

事 務 局
(応募先)

岩手県詩人クラブ文芸祭「詩の大会」事務局
〒029-2205 陸前高田市高田町字山苗代58-8 ●松崎みき子 ●TEL / 0192-55-2628

運 営 委 員

●菊池 唯子 ●松崎 みき子 ●兒玉 智江

短歌

日 時

令和6年10月12日(土)午後0時～午後3時頃

会 場

盛岡市勤労福祉会館(盛岡市紺屋町2-9)

会 費

出詠料1,000円(学生は無料)、当日会費500円(後日、互選のための詠草集に同封の払込取扱票にて払い込むこと。)

詠 草

1 首(未発表作品) はがきを使用。住所・氏名・電話番号・年齢を明記。学生は学校名も明記。

選 者

●鷹觜 真智子 ●藤井 永子 ●山本 豊 ●吉田 史子

表 彰

優秀作品には、文芸祭賞、優秀賞、奨励賞の賞状に、それぞれ副賞を添えて贈る。

応 募 締 切

令和6年8月30日(金)必着

事 務 局
(応募先)

●赤澤 篤司
〒020-0016 盛岡市名須川町11-8 ●TEL・FAX / 019-625-5874

運 営 委 員

●赤澤 篤司 ●外館 克裕 ●山本 豊

俳句

日 時

令和6年10月19日(土)午前10時から午後3時

会 場

盛岡市勤労福祉会館(盛岡市紺屋町2-9)

参 加 費

1,500円(資料代等)

作 品

当季雑詠3句(投句締切 午前11時)

内 容

句会、互選、選者選、披講、講評、表彰

選 者

●名久井 清流 ●澤口 航悠 ●二階堂 光江 ●五日市 明子 ●及川 永心

表 彰

優秀作品には、文芸祭賞、優秀賞、奨励賞の賞状に、それぞれ副賞を添えて贈るほか、各選者賞を贈る。

事 務 局

●伊藤 恵美 〒020-0133 盛岡市青山3-10-1 ●TEL / 090-7939-0797

運 営 委 員

●伊藤 恵美 ●山火 律子 ●四戸 美佐子 ●中村 紀子 ●太田 加留子 ●高橋 千衣子

川柳

日 時

令和6年10月6日(日)午前9時～午後3時頃 ※第42回東北川柳連盟盛岡大会と合同開催

会 場

湯守ホテル大観(つなぎ温泉)(盛岡市繫字湯の館37-1)

会 費

3,000円(当日大会参加費) ※前夜祭参加・宿泊希望の場合は別途会費が必要

席題と選者(2句詠)

「 〃 」●当日参加者による3名共選

宿題と選者(各題2句詠)

「 悟 」●石川 檀 他1名共選 「 酔 」●富岡 敦子 他1名共選
「 月 」●あべ 和香 他1名共選 「 香 」●柳清水 広作 他1名共選
「 子 」●河野 康夫 他1名共選 「 朗 」●佐藤 岳俊 他1名共選

賞

文芸祭賞、優秀賞、奨励賞、合点賞(1～15位)、特選賞 ほか

欠 席 投 句

拝辞

参 加 申 込

事前申込不要。ただし前夜祭参加・宿泊希望は、9月13日(金)までに事務局へ申込が必要。

事 務 局

●伊藤 豊志 〒027-0028 宮古市神林5-25 ●TEL / 0193-62-1137

運 営

●岩手県川柳連盟 ●東北川柳連盟